

学期	月	単 元	学習活動	学習のアドバイス	提出物
3 学 期	1	(4) 情報社会を支える情報技術 ア 情報通信と計測・制御の技術	・ 情報通信 ・ コンピュータによる計測・制御	・ 情報技術における人間への配慮や情報技術の進展が社会に及ぼす影響について考えましょう。	・ 学習ノート
	2	イ 情報技術における人間への配慮	・ 人に優しい情報技術		
	3	ウ 情報技術の進展が社会に及ぼす影響	・ 情報化の光と影		
		学 年 末 試 験			
【提出物】 1 学習ノート(1回)					
【学年末の評価方法】 学年末試験の成績、1年間の定期試験の成績、作品やレポートなどの提出物の内容及び学習活動への参加の仕方や態度などを参考に評価します。					

3 情報Cのシラバス

情報のデジタル化の仕組みや情報機器の機能、情報通信ネットワークの仕組みや情報通信の方法などについて学び、効果的な情報の表現やコミュニケーションを行うための基礎的な知識と技能について習得します。また、情報の収集・発信についての個人の責任、情報システムの特長、情報化の進展が社会に及ぼす影響などについても考えます。

履修するに当たって

学年	第 1 学年		単位数	2 単位
使用教材	教科書	〇〇 情報 C 〇〇 出版		
	副教材	〇〇〇〇 情報 C 〇〇 出版		
使用機器 など	ハード	コンピュータ、プリンタ、デジタルカメラ、イメージスキャナ、プロジェクタ		
	ソフト	ワープロソフト、表計算ソフト、プレゼンテーションソフト、Web ブラウザ、Web ページ作成ソフトなど		
授業について	・ 情報活用の実践力を養うために、総授業時間数の 3 分の 1 以上が実習の時間になります。 ・ 実習では発表や討論なども行います。 ・ 個別学習、グループ学習などいろいろな形態で学習を行います。			
評価について	【評価の基本方針】 授業は実習を中心に進みますので、定期試験の成績ばかりではなく、実習の作品やレポート、生徒自身による自己評価、グループにおける相互評価なども参考に、これらを総合的に判断して評価します。			
	作 品	授業での制作物は作品として提出します。		
	レポート	授業で扱う内容によっては、自分の考えをレポートとして提出します。 問題意識をもって授業に取り組みましょう。		
	自己評価票 相互評価票	発表会などで使用した自己評価票や相互評価票も評価の参考にします。		
	定期試験	教科書や問題集などから授業で扱った内容を中心に出题します。		

主な学習内容と学習のねらい

- 1 情報のデジタル化やインターネットの特性を理解し、コンピュータを効果的に活用できるようにします。
- 2 ネットワークやデータベースなどの活用を通して、多様な形態の情報を統合することにより、情報を自ら生み出し、その内容をわかりやすく伝えることができるようにします。
- 3 情報通信ネットワークを活用して、効果的な情報の表現やコミュニケーションができるようにします。
- 4 発表や討論を通して、プレゼンテーション能力や判断力を高めます。
- 5 情報社会の特徴や情報の社会に与える影響などを知り、情報社会に参加するときの適切な行動・態度について実践を通して身に付けます。

学習計画

学期	月	単 元	学習活動	学習のアドバイス	提出物
1 学 期	4	(1) 情報のデジタル化 ア 情報のデジタル化の仕組み イ 情報機器の種類と特性 ウ 情報機器を活用した表現方法	・「メディア」という言葉の意味の違いを考える。 ・種々の情報のデジタル表現について学ぶ。 ・コンピュータ内部の機器、周辺機器の働きを理解する。	・情報媒体、表現形式、報道機関などメディアという言葉で表されるものには多くの種類があることに気付きましょう。 ・各種メディアに保存できる容量がおおよそわかるように、また計算できるようにしましょう。	・ レポート
	5				
	6	(3) 情報の収集・発信と個人の責任 ア 情報の公開・保護と個人の責任 イ 情報通信ネットワークを活用した情報の収集・発信	課題学習(情報の収集) ・学校祭のクラス展示についての情報収集とプレゼンテーションを行う。	・インターネットを利用した情報の収集に慣れましょう。 ・コンピュータを利用して、見やすくわかりやすくなるように工夫を凝らしてみましょう。	・ 原稿 ・ ファイル
	7				
		第 1 学 期 期 末 試 験			
			・ 暑中見舞いや残暑見舞いを送ろう。	・ 電子メールを利用して、コミュニケーションを図りましょう。	・ メール
【提出物】 1 作品(2作品) 2 レポート(1回) 3 メール(1回)					
【第1学期の評価方法】 期末試験の成績、作品やレポートなどの提出物の内容及び学習活動への参加の仕方や態度などを参考に評価します。					

学期	月	単 元	学習活動	学習のアドバイス	提出物	
2 学 期	9	(2) 情報通信ネットワークとコミュニケーション ア 情報通信ネットワークの仕組み イ 情報通信の効率的な方法 ウ コミュニケーションにおける情報通信ネットワークの活用	・ 通信手段の変遷について知る。 ・ インターネットの基本的な仕組みについて理解する。 ・ コンピュータのネットワークを構築する。 ・ ネットワーク上にある悪意のあるものについて知り、心構えを身に付ける。 ・ 進路学習をかね、興味のある学校、学部などを紹介するWebページを作成する。	・ 変化にともなうメリットは何かを理解しよう。 ・ 何気なく利用しているインターネットの仕組みを調べてみよう。 ・ 実際にコンピュータ同士を繋いでみよう。意外と簡単なことに気付くはずで す。 ・ ウィルス、ブラウザ・クラッシャーなど体験してみま しょう。 ・ 見やすく、興味を引くよう に工夫しましょう。	・ レポート ・ Webページ	
	10					
	11	(3) 情報の収集・発信と個人の責任 ア 情報の公開・保護と個人の責任				
	12					
		第 2 学 期 期 末 試 験				
					・ 自由課題	
【提出物】 1 作品（1作品） 2 レポート（1回）						
【第2学期の評価方法】 期末試験の成績、作品やレポートなどの提出物の内容及び学習活動への参加の仕方や態度などを参考に評価します。						
3 学 期	1	(4) 情報化の進展と社会への影響 ア 社会で利用されている情報システム イ 情報化が社会に及ぼす影響	・ 収集した情報を鵜呑みにする危険性について理解する。 ・ 著作物の不正な複製の弊害を知る。 ・ 情報技術の発展が社会生活にどのような影響を及ぼしたか、そのプラス面とマイナス面とを理解する。 ・ コンピュータを利用した犯罪についての知識を高め、自分が被害者とならないような対策を考える。	・ 情報を検証することの大切さに気付きましょう。 ・ 誰もが著作権になりうることを知り、著作権を尊重するマナーを身に付けま しょう。 ・ インターネットの利便性、と今後の可能性について考えま しょう。 ・ テレビや小説の中のことではなく、それが身近なものであることを理解しまし ょう。		
	2					
	3					
		学 年 末 試 験				
【提出物】 なし						
【学年末の評価方法】 学年末試験の成績、1年間の定期試験の成績、作品やレポートなどの提出物の内容及び学習活動への参加の仕方や態度などを参考に評価します。						